

### 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の生活歴を尊重し、地域の中でその人らしく暮らし続けるという理念を、全ての職員が理解しつくりあげています。	
2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	カンファレンスや日々のミーティングに於いて常に運営理念の共有を再確認している。また職員の異動時は特に、理念の確認を全職員共通徹底して取り組んでいる。	
3	家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	施設内に運営理念を明示し、家族をはじめ全ての来訪者に示している。説明を求められたときは十分な説明を行うようにしている。	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	挨拶や身近な話を行うなど、日常的なつきあいができるよう努めている。また敷地内の散策を勧めるなど、気軽に立ち寄れる雰囲気づくりを図っている。	より一層馴染みの関係を作れるよう努めていきたい。
5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域行事活動への参加は、十分な機会を設けることができなかった。	地域からのお誘いには出来る限り参加していきたい。

グループホームさわらび (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>6 事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>特養さわらびとの合同コンサートを実施し地域住民への参加を呼びかけている。</p>		<p>今後も積極的に計画実施して行きたい。</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7 評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価については全職員が参加し意見を出し合うとともに、あらためて日頃のサービスの確認、見直しに努めている。</p>		
<p>8 運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>十分な意見交換を行い、その内容をサービスの向上に活かせるよう検討していきたいが委員の出席が回毎に減っている。</p>		<p>今後も全職員に運営推進会議の結果を報告し、現況の把握とより良質の支援へ反映させたいが会議の開催が危ぶまれている。</p>
<p>9 市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>法人本部が窓口となり、市町村担当者との連携を取り情報の提供をしながら、課題解決への取り組みを行っている。</p>		<p>情報をより一層身近に取り入れたサービスの提供を実施していきたい。</p>
<p>10 権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>常に情報を収集し、ミーティングなどを通して話し合う機会を持っている。</p>		<p>研修・講習会へ積極的に参加し、最新の情報を得る機会を持ち、必要な支援提供ができるようにしていきたい。</p>
<p>11 虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>常に尊厳・尊重を十分に理解し、身体的虐待、精神的虐待防止は勿論、特にことば使いには細心の注意を払っている。不適切な言葉遣いは、即注意し合う職員の間人間関係をつくっている。</p>		<p>今後も職員の意識の向上を図って行きたい。</p>

グループホームさわらび (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入退所時には十分な時間をかけ丁寧な説明を行っている。また質問しやすい雰囲気づくりに努めている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>派遣相談員の訪問等、意見・不満・苦情の言える環境づくりを行っている。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>写真入の便りを月1回定期的に出しており、受診後の要報告事項や、日常特に報告を必要とする事項は電話で報告をしている。金銭管理は月1回の報告と面会時の確認を行っている。</p>	<p>日々の暮らしの様子や施設からの連絡事項等を提示するなど、家族が来訪した機会を活かして、積極的に情報の提供を行っていき金銭の使用をより以上に明確にしていきたい。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>法人全体でのアンケートを年1回行っており、その検証を基に職員の意見交換を実施し改善している。またホーム内にご意見箱の設置とその旨の説明をし、気軽に投函できる場を設けている。</p>	<p>意見箱の利用を積極的にすすめたい。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ミーティングやカンファレンス等を通じ意見交換を行い、改善に反映させている。</p>	<p>今後も何でも話せる機会を設け、建設的な運営に反映させて行きたい。</p>

グループホームさわらび (1F)

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>欠勤者等が出た場合には職員間の話し合いで勤務の調整を図り、必要な職員の確保を実施している。</p>		<p>ゆとりのある勤務が出来るようにしたい。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の配置異動は極力行わないようにしている。また職員が変わった場合には、継続されたケアが行われるよう十分に説明をしている。</p>		<p>離職を防ぐとともに、新しい職員が入ってきても継続されたケアができるよう引継ぎをきちんと行いたい。</p>
5. 人材の育成と支援				
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修を積極的に活用し、可能な限り職員全員が参加できる機会を確保している。またミーティングなどを利用し継続的な活かし方を実施している。</p>		
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡会や講習会等に参加している。</p>		<p>他のグループホーム又法人内グループホームの意見交換や体験実習をし質の高いサービスを提供していく。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>休憩時間等場所を変えて休めるようにしたいが業務の内容から無理である。</p>		<p>せめて全職員が出席出来るような親睦会等を検討したい。</p>

グループホームさわらび (1F)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員からの提案を取り入れるなど、職員自身が積極的に取り組む姿勢や努力を大切にしている。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会を作り、受けとめる努力をしている	家族からの情報を十分に収集するとともに、十分に時間をかけ本人を受け止め、信頼関係を築く努力をしている。		
24	初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会を作り、受けとめる努力をしている	十分に時間をかけ受けとめる努力をしている。		
25	初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	いまその人にとって一番に必要な支援は何かを見極める努力をしている。		数多くの情報収集に努めていきたい。
26	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族との相談や事前面接を通じ、馴染みやすい工夫を考えている。		家族等と十分に話し合い、本人と家族にあった個別の利用開始に努めていきたい。

グループホームさわらび (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>常に同じ目線に立ち、共に過ごし学ぶという姿勢を大切にしている。調理の方法を教えてもらったり一緒に考えたりしている。</p>	<p>一方的な関係にならないよう、共に生活し一緒に過ごしていく場となるよう支援していきたい。</p>
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>互いに情報を共有し協力し合うことで、共に利用者を支えていくパートナーとしての関係を築けるよう努めている。</p>	
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>面会や外出、外泊などを提案することで、家族とのつながりを尊重している。</p>	<p>今後も家族とのよりよい関係を継続できる支援をしていきたいが家族の協力を得られない場合がある。より以上に検討していきたい。</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>知人や友人・家族等の面会や、外出への制限はないため、以前の馴染みの関係の方々が度々訪問してくださっている。また施設からも積極的に案内を行っている。</p>	<p>引き続きこれまでの馴染みの関係を継続していけるよう支援していきたい。</p>
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>利用者同士で会話をしているとき等は、その時間を大切にしよう見守りを行っている。また利用者同士が関わり合いを持てるよう、状態を観察しながら積極的に声掛けをしている。</p>	

グループホームさわらび (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>		
<p><b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p> <p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>		<p>得られた情報について、今後のために記録として残していける体制を整えていき交代職員が来ても即情報を得ることが出来るようにしたい。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>		
<p><b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>		

グループホームさわらび (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人や家族・主治医などと話し合い、必要に応じ見直している。		新しい情報を収集し変化に応じた介護計画を作成できるよう取組んでいきたい。
38 個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録のほか、業務日誌や申し送りノートなどを活用し情報を共有している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外出や外泊、移送のサービスを通じ、柔軟なサービスを行っている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40 地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	年に数回の市の派遣相談員の訪問や民生委員の方の訪問等を通じ、情報交換や協力を行っている。		
41 他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	外出が困難な利用者については、訪問理美容サービスを同敷地内の特養を利用している。		いろいろなサービスを利用したいがグループホームでは限られている為、必要に応じ本人や家族と相談しながら、他のサービスの利用も検討していきたい。



グループホームさわらび (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	施設の運営推進会議に包括支援センターの相談員に参加してもらっている。		今後も情報交換を活発にすることで、利用者への支援を継続していきたいしゆとりを持つ時には行事等への参加を呼びかけていきたい。
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前に協力医療機関がかかりつけ医となることを説明し、同意を得ている。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	法人グループ内の医療機関に専門医がおり、必要に応じ受診するなどの支援を行っている。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	敷地内の特養の看護師に相談している。		看護師の職員の確保を考えてもらう。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	グループ法人内の医療関係者も含めて、入院時の医療機関とは情報交換を行っている。		時間が許す限りお見舞い等でコミュニケーションをとっていきたい。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人や家族等の希望を聞きながら、かかりつけ医や法人内関係者等と相談を重ね方針を決めるよう努めている。		可能な限り早期から方針を共有するとともに、状況の変化に合わせ繰り返し話し合いを重ねていきたい。

グループホームさわらび (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援  重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	日頃より重度や終末期の利用者に対して対応が可能なことや困難なこと、あるいは不安なことなどについて職員間で話し合っている。また法人グループ全体としても対応を検討し協議している。		話し合いを基に医療機関との連携を図りながら支援していきたい。また利用者が充実した日々を過ごせるよう、自分達に出来ることが何かを考えていきたい。
49 住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	可能な限りの情報を提供するとともに十分に時間をかけて話し合いを行っている。		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50 プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員一人ひとりが誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応を行うよう努めている。		特に新職員には徹底して指導していきたい。
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	普段のかかわりの中で利用者が何を希望しているか把握するように心掛けている。		勉強会や研修を通してコミュニケーションスキルの向上を目指し、思いや希望を表わせるよう積極的に働きかけていきたい。

グループホームさわらび (1F)

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ある程度の日課はあるが、それにとらわれ過ぎることなく思い思いのペースで過ごせるよう努めている。</p>		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>本人の意思を尊重しているが御本人が決定出来ないことが多い。</p>		<p>出来る限り本人の御希望に合わせるよう努力している。</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の準備や盛り付け、片付け等はあるだけ利用者と共にしている。職員も一緒に食事を取ることで、味付けの好みや好きな食べ物の話などしながら楽しい時間となるよう心掛けている。</p>		
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>コーヒーやお茶、あめなど、利用者が自宅で過ごしていたときの習慣が続けられるよう個別に対応している。</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンや習慣を把握し、早めの声かけやトイレ誘導を心掛け、オムツを使用しないよう努めている。</p>		

グループホームさわらび (1F)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ある程度の時間は決まっているが、業務の流れで行ってしまう。		話をしたりしながら、一人ひとりの好みに合わせてゆっくりと入浴を楽しんでいただけるようにしていきたい。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの体調や状況に応じ、休息を促すなどの支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の意思を尊重しているが御本人が決定出来ないことが多い。		現在も行っているが、さらに一人ひとりの生活歴や希望に注目し支援していきたい。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	食事の準備や盛り付け、片付け等はできるだけ利用者と共に行っている。職員も一緒に食事を取ることで、味付けの好みや好きな食べ物の話などしながら楽しい時間となるよう心掛けている。		お金を持つことで安心されている方もいる。家族とも相談の上、買い物に出掛けた場合にはお財布を持ってもらい支払いまで本人ができるよう支援していきたい。小額を渡しておくことも検討している。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	コーヒーやお茶、あめなど、利用者が自宅で過ごしていたときの習慣が続けられるよう個別に対応している。		

グループホームさわらび (1F)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンや習慣の把握し、早めの声かけやトイレ誘導を心掛け、オムツを使用しないよう努めている。</p>		
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>ある程度の時間は決まっているが、業務の流れで行ってしまう。</p>		
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>一人ひとりの体調や状況に応じ、休息を促すなどの支援を行っている。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>ボディに対する拘束はしていない。</p>		
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>居室への施錠は行っていないが、職員の配置や建物の構造、利用者の状況を考慮の上、現在は施設の玄関には鍵をかけている。</p>		<p>職員間で利用者の安全を確保しつつ鍵をかけないで過ごせるか話し合っていきたい。</p>

グループホームさわらび (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は利用者の所在、様子には気を配っている。夜間は状況を確認しやすい位置に待機している。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状態に応じて塗り薬など、危険の少ないものに関しては本人に管理してもらっている。利用者個々に応じた管理や保管の方法を常に話し合い決定し、職員が理解している。		本人の意思を尊重し全く危険性の無いものは管理させてあげたい。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	法人グループ全体としても情報を共有し対策を講じている。		常に研修会等に参加し全職員意識を向上させたい。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的な訓練は行っていない。		法人内の病院や地域の消防署などにも働きかけて実施していきたい。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に入居者様も参加していただき行っている。		定期的なミニ訓練を多く実施するとともに、より協力が得られるよう取り組んでいるが地域の方々の協力を得られるよう検討していきたい。
72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	予測できるリスクについては機会あるごとに家族に説明し話し合っている。		

グループホームさわらび (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		

グループホームさわらび (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防としてうがい、手洗い、消毒を実施している。病院より情報を得るとともに法人内の研修会などを通じ理解を深めている。随時本部より情報の提供がある。		本部より情報の提供指示に従いより以上に予防に努めていきたい。
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所、調理用具などの衛生管理、調理する人の衛生管理、安全な食材の使用に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りに緑を置いたり花を植えたりして親しみ易く暮らしの場所として威圧感がないよう配慮している。		
81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には生け花や観葉植物を置き、廊下の壁には古典的なのれんを掛けるなど、落ち着いて過ごせるよう配慮している。		
82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中にソファを置き一人になったり気の合った利用者同士で過ごせるよう工夫している。		



グループホームさわらび (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族と相談し出来る限り居室には以前から使用していた家具や使い慣れた調度品を置いている。</p>		
<p>84</p> <p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>一人ひとりの状態や反応を見ながら自然に近い換気や空調を心掛け、体調の乱れや気分が落ち込まないようにこまめに行っている。</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>85</p> <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりに合った道具を使用している。</p>		
<p>86</p> <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>不安や混乱を招かないよう環境に配慮し、繰り返し説明して不安を取り除くよう、一人ひとりの状態に合わせて工夫している。</p>		
<p>87</p> <p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>ベランダにはいつでも出られるようにし植物の手入れや水やり、洗濯物を干したり取り込んだりできるようにしている。</p>		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

グループホームさわらび (1F)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所に つけること)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の
		利用者の2/3くらいの
		利用者の1/3くらいの
		ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある
		数日に1回程度ある
		たまにある
		ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が
		利用者の2/3くらいが
		利用者の1/3くらいが
		ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が
		利用者の2/3くらいが
		利用者の1/3くらいが
		ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が
		利用者の2/3くらいが
		利用者の1/3くらいが
		ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が
		利用者の2/3くらいが
		利用者の1/3くらいが
		ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が
		利用者の2/3くらいが
		利用者の1/3くらいが
		ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と
		家族の2/3くらいと
		家族の1/3くらいと
		ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように
		数日に1回程度
		たまに
		ほとんどない

グループホームさわらび (1F)

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所に をつけること)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている
		少しずつ増えている
		あまり増えていない
		全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が
		職員の2/3くらいが
		職員の1/3くらいが
		ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が
		利用者の2/3くらいが
		利用者の1/3くらいが
		ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が
		家族等の2/3くらいが
		家族等の1/3くらいが
		ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

同一敷地内に介護老人福祉施設があるため、介護老人福祉施設で行われるイベント(地域との交流会・職員の研修会等)を共有できます。グループホームさわらびのほか17事業を各地で展開しているため、施設での生活が困難になった際にも他の施設サービス等を紹介することが可能です。自然あふれる環境のもと、和やかでこころ豊かな生活を送ることが出来ます。